

「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」 第3回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	特定非営利活動法人ふらいおん（トクテイエイリカツドウホウジンフライオン）		
事 業 名 称	無料学習塾事業の運営と継続	助成額	50万円
申請事業の概要	大阪市内で運営している無料塾（合計4校舎）と2023年8月開校予定の無料塾（合計2校舎）の運営をしていくとともに、今後の事業の継続・発展をはかる。		
申請事業の目的	裕福な家庭の子どもは民間の塾や習い事に授業料を払ってもらい通ったり、お出かけや課外授業に参加することで様々な経験ができる一方で、貧しい家庭では生活していくのに精いっぱい、塾や習い事に通ったり、お出かけのためのお金を捻出することができない。 このように経済格差が教育格差につながり、将来的には貧困の連鎖に繋がるという現状を改善したり、学びたいという気持ちがある全ての子どもたちが環境の制限なく学ぶことができる環境を提供したりすることを目的として勉強や、習い事、様々な体験活動ができるような無料塾事業を行う。		
関連するSDGs目標	4 質の高い教育をみんなに 10人や国の不平等をなくそう		

2. 助成事業の実績・成果等について

【助成期間に実施した事業内容】

・大阪市内で勉強に特化した無料塾を2校、書道の習い事に特化した無料塾、科学実験や幅広い業界の講師の方による講義などの体験活動に特化した無料塾、曜日ごとに変わる様々な習い事と学習塾を組み合わせた無料塾をそれぞれ1校ずつの計5校を運営した。

・それぞれの無料塾がそれぞれの特徴を活かして活動、利用者のニーズに合う無料塾を紹介したりすることで連携を行った。

・地区の社会福祉協議会やお寺、企業、住民などに宣伝や開催場所の提供、ボランティアとしての参加に協力していただき、無料で開催できる環境を整えるとともに、地域の繋がりを深める活動を行った。

・無料塾の運営を始めたいという団体や、より強固な運営体制にしたいといった団体に対し、サポートする活動を行った。

【成果】

・無料塾全体の開校数を合わせ、月に20回ほど無料塾を開講し、各回約10人の子どもたちが参加。1年間で延べ2,000を超える子どもたちに無料塾を利用してもらうことができ、学習の機会や様々な体験を提供することができた。

・経済的な制約を受けることなく学んだり体験したりすることができ、子どもたちの将来の選択肢を広げることができるような活動ができた。

・新たな団体との連携なども増え、より多くの子どもたちに多様な学びや体験を提供できるようになった。

・当法人が体教出ノウハウを活用し、新たな無料塾の運営が開始された。

3. 課題分析や今後の発展性

【課題と対策】

① ニーズの増加による参加上限数の問題

活動場所の広さの都合上、一回の開校において参加人数に上限を設定しなくてはならず、ニーズが高い校舎などは参加できない場面も出てきたことが課題として挙げられる。

対策としては、校舎数の増加や、運営体制をより強固にする（講師数の増加や利用できるスペースの拡大等）ことによる、受け入れキャパシティの増加などが考えられる。

② 事業を必要とする利用者層へのリーチの問題

無料塾によっては、参加に全く条件をつけていない校舎もあり、真に事業サービスを求めている層に確実にリーチできているかというと、そうではない実情がある。

対策としては、募集のチラシを配布する範囲を工夫することや、入塾条件を付与する（世帯収入や、他に習い事を行っているか否か等）ことが考えられる。

4. 代表者又は担当者からのひとこと

「子どもたちが無料で学習・活動できる」という事業には絶えずニーズがあり、本助成金を活用し行われた当法人の事業も当てはまる結果となった。保護者の方から「無料なのにここまで手厚く面倒を見ていただいて、本当に感謝しています」というようなお声も聞くことができ、活動に対する満足度も高いことがうかがえた。子どもたちも日々元気に活動に参加しており、中には目に見えて学力が向上している子も珍しくない。こういった場面を、みることができるのは、スペースを貸していただいている団体さんや、子どもに関わってくれる講師さん、助成をくださった企業さんの協力に他ならない。改めて、お礼を申し上げたいと思います。（無料塾事業代表 野田）